

# 女性が輝く 京都企業



齋田社長(右)と北尾さん

## 株式会社永楽屋

代表者/齋田芳弘

住所/京都市中京区河原町通四条上る東側

TEL / 075-221-2318

事業内容/佃煮・和菓子の製造販売

従業員 / 77名

うち女性 61名(社員 20名)



復職後も精力的に働ける環境が整っている

## 社員一人ひとりの貢献に報い 人生を応援する「働き方改革」を模索

1946年の創業時より「からいもの(佃煮)とあまいもの(菓子)両方」を製造販売するスタイルを確立。看板商品「一と口椎茸」は、かの向田邦子氏も愛した逸品として知られる。社業の若き担い手・齋田芳弘社長は、かねがね時代に合わせた労働環境、就業規則を整備する必要性を感じていたが、自らが父となり育児に参加した経験が背中を押したという。「社員のライフステージに応じたサポートができる会社に」と決意し、京都府のワーク・ライフ・バランスの勉強会に出席。「そこで出会ったのが先んじた取り組みをされていた佐々木化学薬品さん。きめ細かなアドバイスをいただきながら就業規則を整えることができました」。育児や介護等での退職後も社員として復帰できる再エントリー制度をはじめ、希望に応じて勤務時間の変更や短縮ができるフレックスタイム制度などを設けた。いずれも社員の実情に適した利用の仕方ができるのが特徴である。

新制度利用の第1号は営業推進室でブランディングや広報を担当する北尾愛さん。お子さん

が満1歳の時に仕事復帰した。「初めての制度利用だったので不安もありましたが、あたたかく受け入れてもらえました。上司の『労働は時間より質』というモットーにも助けられ、短時間でも集中力を持って仕事の質を高めるよう意識しています」。復職から3年、仕事で着実に成果を出す一方、お子さん同伴で社内イベントに参加されるエピソードも微笑ましく、あたたかな社風がうかがえる。

先輩「イクメン」の齋田社長も「今後、子どもの成長とともに出てくる新たなニーズへの対応や、販売など他職種への適用などの課題もありますが、工夫して充実させていきます」と意欲的。「これからは親の介護に直面する人も増えてくるはず。たとえ長く退職しても社員として再度迎え入れる手厚い制度で、人生をサポートしていくのも会社としての使命だと思っています。また、そういった人としての豊かな経験が一人ひとりの人間性を深め、お客様の理解につながるも期待しています」。受け継がれてきた誠実なものづくりの精神は、「人」への真摯なまなざしにもつながっている。